


NetAppで ストレージ使用量を削減し、 よりサステナブルな データセンターを実現

ANY DATA, PLACE, OR TIME


デジタル世界での行動には現実世界の結果が伴います。アクションを起こすたびに、私たちは環境に強い影響を与えています。Eメールの送信、コンテンツのストリーミング、開発フレームワークの新規立ち上げなど、どのような行動でも同じです。オンラインのアクティビティはエネルギーを消費し、二酸化炭素排出量を増やしているのです。

NetAppは、企業の効率的なデータ管理を支援し、サステナビリティの目標達成に貢献しています。所有するデータや、現在のIT資産、ハイブリッド クラウド戦略を見直し、対策を講じることで、企業は高騰するエネルギーコストに対処しつつ、インフラをより環境に優しく、未来に向けてよりサステナブルなものにすることができます。


データへの持続可能なアプローチの4つのステップ

 **1** **オンプレミスとクラウドのITリソース全体が現在どのように使用されているかを評価する**


Cloud Insightsを基盤とするNetApp® BlueXP™のオペレータビリティは、オンプレミス環境とクラウド環境のスタック全体を可視化します。データセンターの消費電力について、リアルタイムのダッシュボードと過去のトレンドを把握して、CO2排出量を的確に判断し、コストと無駄を削減できます。

 **2** **データの配置場所やアクティブ性など、データがどのように利用されているかを分析する**

Cloud Data Senseを基盤とするNetApp BlueXPの分類は、自社が保持するデータの全体像や、各データの使用状況（あるいは不使用の状況）を把握するために役立ちます。データの68%はコールド データです¹。BlueXPの分類により、コールド データを特定して、持続可能性が高いクラウドベースのコールド ストレージに移動することが可能です。この分類は、データのマッピング、分析、分類のためのソリューションとして、ITチーム向けに設計されています。データ主体のスマートな意思決定と行動を可能にし、データ ガバナンスと持続可能性の要件を満たすことができます。

 **3** **移行、バックアップ、階層化によって、適切なデータをクラウドに移動する**

パブリック クラウド プロバイダのデータセンターは、電力使用効率とサステナビリティにおいて従来のデータセンターよりもはるかに優れています。そして業務効率のあらゆる面を検証し、調整しています。企業は、データの保護、移動、保存のためのツールを活用することで、データセンターの効率を補うことができます。NetApp BlueXPの同期によってワークロードをパブリック クラウドに移行すれば、サステナビリティを大規模に活用できます。また、NetApp BlueXPのバックアップとリカバリは、データをクラウドへスピーディかつシンプルにバックアップします。さらに、NetApp BlueXPの階層化を使用すれば、使用頻度が低いデータを自動で効率的かつシームレスに移動できます。こうして企業のサステナビリティを向上させ、コストを削減できます。

 **4** **オンプレミスに残すデータにはエネルギー効率に優れたストレージを利用する**

オンプレミスのデータをできる限り効率的に保持するには、エネルギー消費の削減が可能なテクノロジーを活用します。たとえば、高度なデータ削減機能を持つSSDベースのシステムを導入して移行し、HDDベースのシステムを廃止することが可能です。NetAppのストレージ容量削減保証では、重複排除、圧縮、コンパクションを利用して、NetApp AFF Aシリーズ、Cシリーズ、ASAシステムのエネルギー消費量を削減します。NetApp ONTAP®搭載のストレージ システムとソフトウェアの効率性を活用して、ストレージ使用量を削減し、クラウドにデータをインテリジェントに階層化できます。

NetAppのサステナビリティへの アプローチの詳細を ご覧ください。

ANY DATA, PLACE, OR TIME

[→ 詳細はこちら](#)

持続可能な未来に向けて

私たちはサステナビリティの価値観を実践しています。NetApp 2023 ESGレポートでは、NetAppが組織としてよりサステナブルになるための測定可能な目標を掲げています。当社は、エビデンスに基づく主要なESG評価機関であるEcoVadisから、ゴールド メダルを授与されました。この受賞により、NetAppはEcoVadisによって評価された企業の上位5%に位置づけられています。



気候変動の危機を脱するために効果のある測定可能なイニシアチブと、グリーンウォッシュと呼ばれる中身の無い上辺だけのエコ活動とは違います。グリーンウォッシュはブランドのイメージアップ以外には何の役にも立ちません。それは、持続可能に見えることと、実際に持続可能であることの違いです。

NetAppは、当社の知識と経験を活かして、お客様が目標を立ててそれを達成するお手伝いをしたいと思います。企業がNetAppソリューションから排出される二酸化炭素量を測定し、十分に活用されていない無駄なリソースを特定し、最終的にデータセンターで消費されるエネルギーの無駄を省くため、NetAppのテクノロジーをご活用ください。

今こそ、データとサステナビリティについて真摯な態度で話し合う時です。

[→ ブログを読む](#)

1 IDCによる調査と分析に基づくSeagate Technology Report「Rethink Data: Put More of Your Business Data to Work—From Edge to Cloud」(2020年7月)